VMware vSphere with Operations Management および VMware vSphere

ライセンス、価格設定、およびパッケージ

ホワイト ペーパー

vmware®

目 次

概要 3

VMware vSphere with Operations Management の概要 3

ライセンスの概要 3

VMware vSphere with Operations Management 6 のライセンス：
プロセッサ単位. 3

VMware vSphere 6 のライセンス：プロセッサ単位 4

ライセンス管理. 4

ホスト別ライセンス管理オプション. 4

例：新しいホストへの vSphere with Operations Management 6
ライセンスの適用 4

パッケージの概要 4

vSphere with Operations Management のエディション 4

vSphere のエディション. 6

VMware Integrated OpenStack 6

VMware vSphere Hypervisor 6

VMware vSphere Desktop. 6

vSphere with Operations Management Acceleration Kit 6

VMware vSphere Essentials Kit 6

VMware vSphere Remote Office Branch Office 8

vCenter Server のエディション. 8

既存のお客様へのバージョン アップグレードの提供 9

エディションの有償アップグレード 9

FAQ 10

導入方法 11

詳細情報 11

概要

このガイドでは、VMware vSphere® with Operations Management™ 6 および VMware vSphere® 6 のライセンス、価格設定、およびパッケージについて概説します。主な項目は次のとおりです。

- VMware vSphere with Operations Management の概要
- ライセンスの概要：各エディションのライセンスとライセンス管理
- パッケージの概要：エディション（VMware vCenter Server™ を含む）およびキットのパッケージ オプション
- 既存のお客様へのバージョン アップグレードの提供
- VMware vSphere 6 および VMware vSphere with Operations Management 6 のエディションへの有償アップグレード

VMware vSphere with Operations Management の概要

VMware vSphere with Operations Management は、パフォーマンス監視やキャパシティ管理などの運用上重要な機能拡張を含む、業界で最も信頼されている仮想化プラットフォームを提供します。企業規模を問わず、高いサービス レベルでアプリケーションを実行し、キャパシティ使用率および統合率を高めることで、ハードウェアのコストを最大限削減できるように設計されています。IT 部門は統合コンソールを使用して仮想環境の状況を詳細に確認し、パフォーマンスの問題を事前に特定および修正して、リソースの使用を最適化することができます。vSphere 単体で使用するよりも、お客様に大きなメリットがもたらされます。平均してアプリケーションのダウンタイムは 36 % 削減され、ハードウェア リソースを 30 % 節約できます。また、トラブルシューティングの時間は 26 % 短縮されます [1]。

vSphere with Operations Management と vSphere との違いについては、「パッケージの概要」セクションを参照してください。

1. 出典：Management Insight Technologies 社、2014 年、The Benefits of VMware's vRealize Operations: Quantifying the Incremental Value of the vRealize Operations for vSphere Customers

ライセンスの概要

VMware vSphere with Operations Management 6 のライセンス：プロセッサ単位

VMware vSphere with Operations Management 6 のライセンスは、プロセッサ単位で付与されます。vSphere with Operations Management を実行するには、サーバの物理プロセッサ（CPU）ごとに、1 つの vSphere with Operations Management プロセッサ ライセンス キーが割り当てられている必要があります。vSphere with Operations Management のライセンス キーは、vSphere 5.x や vSphere with Operations Management 5.x のライセンス キーと同様に購入、展開、および管理できます。

物理リソースに関する制限なし

vSphere with Operations Management 6 では、物理コア数や物理メモリの容量に制限はありません。

仮想マシン数の制限なし

適切にライセンスが付与された vSphere with Operations Management 6 プロセッサ上で稼動する仮想マシンの台数に制限はありません。

単一のライセンスで 2 コンポーネントを使用可能

VMware vSphere with Operations Management 6 は、vSphere と VMware vRealize™ Operations™ Standard という 2 つのコンポーネントが組み合わされた単体製品として提供され、これらのコンポーネントを 1 つのライセンスで使用できます。VMware vSphere with Operations Management のライセンスが適切に付与されたプロセッサを使用するすべての仮想マシンは、両方のコンポーネントを使用できます。vSphere with Operations Management のコンポーネントを分離することはできません。vSphere with Operations Management の各エディションに含まれる 2 つのコンポーネントは、単一のライセンス権限で機能します。アップグレードとしては、vSphere with Operations Management のエディション間で vSphere コンポーネントのアップグレードができるほか、vRealize Operations Insight™ のアドオンによる vRealize Operations コンポーネントのアップグレードが用意されています。

VMware vSphere 6 のライセンス：プロセッサ単位

vSphere 6 のライセンスはプロセッサ単位で付与されます。vSphere を実行するには、サーバの物理プロセッサ（CPU）ごとに、少なくとも 1 つの vSphere 6 プロセッサ ライセンス キーが割り当てられている必要があります。vSphere 6 のライセンス キーは、vSphere 4.x や vSphere 5.x のライセンス キーと同様に購入、展開、および管理できます。

物理リソースに関する制限なし

vSphere 6 では、物理コア数や物理メモリの容量に制限はありません。

仮想マシン数の制限なし

適切にライセンスが付与された vSphere 6 プロセッサ上で稼動する仮想マシンの台数に、制限はありません。

仮想デスクトップ環境向けの VMware vSphere 6

VMware vSphere Desktop は、vSphere の仮想デスクトップ向けライセンスです。vSphere Desktop は、仮想デスクトップ インフラストラクチャ（VDI）環境の仮想化プラットフォーム用としてのみ、VMware View® またはサードパーティ製コネクション ブローカーと併用できます。詳細については、「パッケージの概要」セクションを参照してください。

ライセンス管理

vSphere 6 および vSphere with Operations Management 6 のライセンスは、25 文字の英数字からなる単純なライセンス キーで提供されます。これには、購入した vSphere または vSphere with Operations Management のエディションまたはキット、およびプロセッサ数に関する暗号化された情報が含まれています。これらのライセンス キーにはサーバ固有の情報は含まれておらず、特定のハードウェアにも関連付けられていません。つまり、物理プロセッサの合計数がライセンス キーにエンコードされたライセンス数を超えないかぎり、複数の vSphere ホストに同じライセンス キーを割り当てることができます。

単一点障害の発生しない統合ライセンス

VMware vCenter Server は、vSphere および vSphere with Operations Management のホストにライセンスを割り当てる際の推奨インターフェイスです。vCenter Server によってライセンス キーが割り当てられると、ライセンス キーはホストにコピーされ、永続的な形式で保存されます。したがって、ホストと vCenter Server の接続が切断され、ホストを再起動したとしても、ホスト上のライセンス キーは無期限に有効な状態を維持します。ホストのライセンス キーを削除または置き換えるには、ユーザーが意図的にライセンスを操作する必要があります。

ホスト別ライセンス管理オプション

VMware は、お客様が VMware vCenter Server を使用して、すべての vSphere および vSphere with Operations Management のライセンスを統合して割り当てることを推奨します。

ただし、vSphere のお客様は、個々のホストにライセンス キーを直接割り当てることができます。直接割り当てられたライセンス キーと、統合管理によって割り当てられたライセンス キーに違いはありません。vCenter Server のインベントリに vSphere ホストを追加した場合も、vCenter Server を介してライセンス キーを直接追加した場合と同様に、このホスト上の既存のライセンス キーを使用して vCenter Server 内で管理、レポート作成、割り当てを実行できます。vSphere のライセンスの詳細については、https://www.vmware.com/jp/support/support-resources/licensing/（英語）を参照してください。

例：新しいホストへの vSphere with Operations Management 6 ライセンスの適用

お客様が 2 個の CPU（各 6 コア）と 128 GB の物理メモリを搭載している 2 台のホストをお持ちで、vSphere with Operations Management 6 の Enterprise Edition のライセンスをご希望だとします。物理 CPU にはそれぞれに 1 ライセンス必要なため、vSphere with Operations Management 6 Enterprise が 4 ライセンス必要となります。仮想マシンの台数、仮想メモリ（vRAM）の量、物理コア数、物理メモリの量が増えても、ライセンスを追加する必要はありません。

パッケージの概要

VMware は、スケーラビリティ、導入規模、使用環境などのお客様固有の要件に合わせて、複数のパッケージ オプションを用意しています。

vSphere with Operations Management のエディション

vSphere with Operations Management は、3 種類のエディションから選択できます（図 1 を参照）。エディションを購入する場合は、サポートおよびサブスクリプション（SnS）契約を別途購入する必要があります。

	vSphere with Operations Management			vSphere		
	Standard	Enterprise	Enterprise Plus	Standard	Enterprise	Enterprise Plus
機能						
vSphere の監視 *	•	•	•			
キャパシティの最適化 *	•	•	•			
運用の視認性 *	•	•	•			
ハイパーバイザー	•	•	•	•	•	•
vMotion®、Storage vMotion、および X-Switch vMotion	•	•	•	•	•	•
High Availability および Fault Tolerance	仮想 CPU 2 個分	仮想 CPU 2 個分	仮想 CPU 4 個分	仮想 CPU 2 個分	仮想 CPU 2 個分	仮想 CPU 4 個分
Data Protection™ および Replication[1]	•	•	•	•	•	•
vShield Endpoint™	•	•	•	•	•	•
Virtual Volumes および Storage Policy-Based Management	•	•	•	•	•	•
vSphere APIs for Storage Awareness	•	•	•	•	•	•
vSphere APIs for Array Integration および vSphere APIs for Multipathing	•	•	•	•	•	•
Distributed Resource Scheduler™（DRS）および Distributed Power Management™（DPM）		•	•		•	•
Big Data Extensions		•	•		•	•
Distributed Switch™			•			•
Storage DRS™			•			•
Network I/O Control、Storage I/O Control、および SR-IOV			•			•
ホスト プロファイルおよび Auto Deploy			•			•
Flash Read Cache™			•			•
Cross-vCenter vMotion および Long Distance vMotion			•			•
コンテンツ ライブラリ	•	•	•	•	•	•
vGPU			•			•

図 1：vSphere with Operations Management 6 および vSphere 6 のエディション
* vSphere の監視、キャパシティの最適化、および運用の視認性の各機能は、VMware vRealize ™ Operations ™ Standard にも含まれています。
[1] vSphere Data Protection Advanced で提供していた高度なバックアップ機能（アプリケーション対応エージェント、レプリケーション、Data Domain との連携など）は vSphere Data Protection ™ に組み込まれています。

vSphere with Operations Management Standard Edition は、基本的なサーバ統合を行うためのエントリ レベルのソリューションです。アプリケーションの展開時間を短縮しながら、ハードウェアコストを削減できます。クラス最高の管理機能により、IT 部門は統合コンソールを使用して、仮想環境の状況を詳細に確認し、パフォーマンスの問題を事前に特定および修正して、リソースの使用を最適化することができます。

vSphere with Operations Management Enterprise Edition は、IT 資産の最適化、費用対効果の高いビジネス継続性の保証、および自動化による IT 運用の効率化を実現するための堅牢なソリューションです。クラス最高の管理機能により、IT 部門は統合コンソールを使用して、仮想環境の状況を詳細に確認し、パフォーマンスの問題を事前に特定および修正して、リソースの使用を最適化することができます。

vSphere with Operations Management Enterprise Plus Edition は、vSphere のすべての機能を提供します。データセンターを大幅に簡素化された仮想インフラストラクチャに変換し、柔軟性と信頼性を備えた次世代の IT サービスによって既存のアプリケーションを実行できるようにします。クラス最高の管理機能により、IT 部門は統合コンソールを使用して、仮想環境の状況を詳細に確認し、パフォーマンスの問題を事前に特定および修正して、リソースの使用を最適化することができます。

vSphere with Operations Management の各エディションの価格設定については、VMware 認定リセラーにお問い合わせください。
http://www.vmware.com/go/jp_partner

vSphere with Operations Management のアドオン：

VMware vRealize Operations Insight™ は、パフォーマンスの管理、キャパシティの最適化、およびリアルタイムのログ分析を行うための統合管理ソリューションです。vRealize Operations Insight は、vRealize Operations Advanced と vRealize Log Insight™ を含むソリューション バンドルとして提供され、vSphere with Operations Management の Standard、Enterprise、および Enterprise Plus の各エディションのアドオンとして使用できます。

vSphere のエディション

vSphere は、3 種類のエディションから選択できます（図 2 を参照）。エディションを購入する場合は、サポートおよびサブスクリプション（SnS）契約を別途購入する必要があります。

vSphere Standard Edition は、基本的なサーバ統合を行うためのエントリ レベルのソリューションを提供します。アプリケーションの展開にかかる時間を短縮しながら、ハードウェアのコストを削減できます。

vSphere Enterprise Edition は、IT 資産の最適化、費用対効果の高いビジネス継続性の保証、および自動化による IT 運用の効率化を実現するための堅牢なソリューションです。

vSphere Enterprise Plus Edition は、vSphere のすべての機能を提供します。データセンターを大幅に簡素化されたインフラストラクチャに変換し、柔軟性と信頼性を備えた次世代の IT サービスとともに既存のアプリケーションを実行できるようにします。

vSphere の各エディションの価格設定については、VMware 認定リセラーにお問い合わせください。
http://www.vmware.com/go/jp_partner

VMware Integrated OpenStack

vSphere Enterprise Plus および vSphere with Operations Management Enterprise Plus をご利用されているお客様は、VMware Integrated OpenStack を無償でご利用いただけます。VMware Integrated OpenStack のサポートはオプションでの提供となり、CPU 単位で別途ご購入いただく必要があります。詳細については、http://www.vmware.com/jp/products/openstack.html を参照してください。

VMware vSphere Hypervisor

VMware vSphere Hypervisor は無償の製品です。コストをかけずにシンプルかつ容易に仮想化を導入できます。vSphere Hypervisor は、基本的な仮想化機能のみを提供しており、わずか数分でサーバを仮想化して仮想マシン上でアプリケーションを実行できるようにします。vSphere Hypervisor は vCenter Server に接続できないため、統合管理を行うことはできません。ユーザーは、vSphere Client を使用して、個々の vSphere Hypervisor ホストをリモート管理できます。物理 CPU 1 個あたりのコア数、ホスト 1 台あたりの物理 CPU 数、サーバまたはホスト 1 台あたりの RAM 容量に制限はありません。仮想マシン 1 台あたりの仮想 CPU の最大数は 8 個です。

VMware vSphere Desktop

vSphere Desktop Edition は vSphere のエディションの 1 つで、VDI 環境向けの vSphere ライセンスとして設計されており、vSphere Enterprise Plus Edition™ のすべての機能を提供します。VDI 環境にのみ使用できます。また、VMware View およびその他のサードパーティ製 VDI コネクション ブローカーと併用できます。

vSphere Desktop Edition は、パワーオン状態のデスクトップ仮想マシンの合計数を基準としてライセンスが付与され、デスクトップ仮想マシン 100 台分のパックとして単体で、または VMware View バンドルの一部としてご購入いただけます。詳細については次の Web サイトを参照してください。
http://www.vmware.com/jp/products/desktop_virtualization/view/howtobuy.html

vSphere with Operations Management Acceleration Kit

vSphere with Operations Management Acceleration Kit は、VMware 環境を新たに立ち上げるために必要なすべてのコンポーネントをまとめて購入できる、便利なオールインワン バンドルです（図 2 を参照）。各キットには、vSphere with Operations Management がプロセッサ単位で 6 ライセンス、VMware vCenter Server Standard のライセンスが 1 インスタンス分含まれています。

1 つのパッケージとして機能する Essentials Kit や VMware vSphere 4.x Acceleration Kit とは異なり、vSphere with Operations Management Acceleration Kit では、キット内のコンポーネントを別々に取り扱うことが可能です。お客様は、ご自身のスケジュールに合わせて、コンポーネントごとに SnS をアップグレードおよび更新することができます。最新の Acceleration Kit の詳細については、認定リセラーにお問い合わせください。

VMware vSphere Essentials Kit

VMware vSphere Essentials Kit は、小規模環境（2 CPU のホスト 3 台まで）向けのオールインワン ソリューションで、Essentials と Essentials Plus の 2 つのキットがあります（図 3 を参照）。各キットには、vSphere がプロセッサ単位で 6 ライセンス、vCenter Server Essentials のライセンスが 1 インスタンス分含まれています。拡張の制限はキットごとに異なります。上限を上げるには、キット全体を Acceleration Kit にアップグレードする必要があります（「エディションへの有償アップグレード」セクションを参照）。Essentials と Essentials Plus の各キットは独立した包括的なソリューションであるため、分割することや、ほかの vSphere のエディションと組み合わせて使用することはできません。

vSphere Essentials Kit は、小規模オフィスに最適なオールインワンソリューションです。少ない先行投資で、アプリケーションの統合と管理が可能で、ハードウェア コストと運用コストを削減できます。Essentials Kit を購入する場合は、ソフトウェアのパッチやアップデートが提供される 1 年間のサブスクリプション契約を別途購入する必要があります。サポートはオプションでの提供となり、インシデント単位で購入できます。

vSphere Essentials Plus Kit には、vSphere Essentials の機能以外に、vSphere vMotion®、vSphere HA、vSphere Data Protection™ など、さまざまな機能が追加され、小規模環境を対象にダウンタイムなしの IT を実現します。Essentials Plus Kit は、ハードウェア コストと運用コストの削減に加え、アプリケーションの可用性とビジネス継続性の大幅な向上を少ない先行投資で実現したい小規模企業に最適です。Essentials Plus Kit の SnS は別売です。少なくとも 1 年間の SnS が必須となります。

	vSphere Essentials Kit		vSphere with Operations Management Acceleration Kit		
	Essentials	Essentials Plus	Standard	Enterprise	Enterprise Plus
含まれる製品					
vSphere	6 CPU	6 CPU	6 CPU	6 CPU	6 CPU
vCenter Server	vCenter Server Essentials × 1 インスタンス	vCenter Server Essentials × 1 インスタンス	vCenter Server Standard × 1 インスタンス	vCenter Server Standard × 1 インスタンス	vCenter Server Standard × 1 インスタンス
機能					
vSphere の監視 *			•	•	•
キャパシティの最適化 *			•	•	•
運用の視認性 *			•	•	•
ハイパーバイザー	•	•	•	•	•
vMotion® および X-Switch vMotion		•	•	•	•
High Availability		•	•	•	•
Data Protection™ および Replication[1]		•	•	•	•
vShield Endpoint™		•	•	•	•
Fault Tolerance			仮想 CPU 2 個分	仮想 CPU 2 個分	仮想 CPU 4 個分
Storage vMotion			•	•	•
Virtual Volumes および Storage Policy-Based Management			•	•	•
vSphere APIs for Storage Awareness			•	•	•
vSphere APIs for Array Integration および vSphere APIs for Multipathing			•	•	•
Distributed Resource Scheduler™（DRS）および Distributed Power Management™（DPM）				•	•
Big Data Extensions				•	•
Distributed Switch™					•
Storage DRS™					•
Network I/O Control、Storage I/O Control、および SR-IOV					•
ホスト プロファイルおよび Auto Deploy					•
Flash Read Cache™					•
Cross-vCenter vMotion および Long Distance vMotion					•
コンテンツ ライブラリ			•	•	•
vGPU					•

図 2：vSphere 6 Essentials Kit および vSphere with Operations Management 6 Acceleration Kit
* vSphere の監視、キャパシティの最適化、および運用の視認性の各機能は、VMware vRealize™ Operations™ Standard にも含まれています。
[1] vSphere Data Protection Advanced で提供していた高度なバックアップ機能（アプリケーション対応エージェント、レプリケーション、Data Domain との連携など）は vSphere Data Protection™ に組み込まれています。

VMware vSphere Remote Office Branch Office

vSphere Remote Office Branch Office Standard および vSphere Remote Office Branch Office Advanced は、分散したリモートサイトの IT インフラストラクチャに特化して設計された、vSphere のエディションです。サービス レベル、標準化、可用性、およびコンプライアンスを向上させることができ、各エディションには、仮想マシン 25 台分のライセンスが含まれています。仮想マシン単位の柔軟な価格モデルを採用しているので、各リモートサイトで必要な数のワークロードのみを展開できます。リモートオフィスや支社のサイトごとに最大 25 台の仮想マシンを展開可能です。サーバ ホストは、vCenter Server Standard を別途購入して管理することができます。

vSphere Remote Office Branch Office Standard では、高可用性を備えた IT インフラストラクチャをリモート サイトに構築することができます。このエディションには、vMotion、High Availability、Data Protection、Replication、Hot Add、vShield Endpoint、Fault Tolerance、Storage vMotion、Virtual Volumes、および Storage Policy-Based Management の各機能が含まれています。

vSphere Remote Office Branch Office Advanced では、サーバのプロビジョニングの迅速化、ホストの構成エラーの最小化、規制準拠に関する視認性の向上を複数のサイトにわたって実現できます。このエディションには、vMotion、High Availability、Data Protection、Replication、Hot Add、vShield Endpoint、Fault Tolerance、Storage vMotion、Virtual Volumes、Storage Policy-Based Management、ホスト プロファイル、Auto-deploy、および Distributed Switch の各機能が含まれています。

vSphere の各エディションおよびキットの価格設定については、VMware 認定リセラーにお問い合わせください。
http://www.vmware.com/go/jp_partner

vCenter Server のエディション

vCenter Server は、完全な vSphere 環境に必要な必須コンポーネントで、vSphere 環境の統合管理を実現します。仮想マシンおよびホストを統合管理し、すべての vSphere 機能を有効にするには、vCenter Server のインスタンスが 1 つ必要です。

vCenter Server では、次のパッケージを提供しています。

- vCenter Server Essentials：vSphere Essentials Kit の統合管理
- vCenter Server Standard： 拡張性の高い管理機能により、vSphere 環境内のすべての仮想マシンの迅速なプロビジョニング、監視、オーケストレーション、および制御が可能

vCenter Server		
	Essentials	**Standard**
ホスト数	最大 3 台	無制限
管理対象の vSphere	vSphere Essentials および vSphere Essentials Plus	vSphere Standard、vSphere Enterprise、vSphere Enterprise Plus、vSphere with Operations Management、および vCloud Suite

図 3：vCenter Server Essentials および vCenter Server Standard

vCenter Server の各エディションの価格設定については、VMware 認定リセラーにお問い合わせください。
http://www.vmware.com/go/jp_partner

既存のお客様へのバージョン アップグレードの提供

有効な SnS 契約をお持ちの vSphere のお客様は、無償でバージョンを vSphere 6.0 にアップグレードできます。バージョンを vSphere 6.0 にアップグレードするには、新しいエンドユーザー使用許諾書（EULA）と vSphere 6 のライセンス モデルに同意する必要があります（図 4 を参照）。

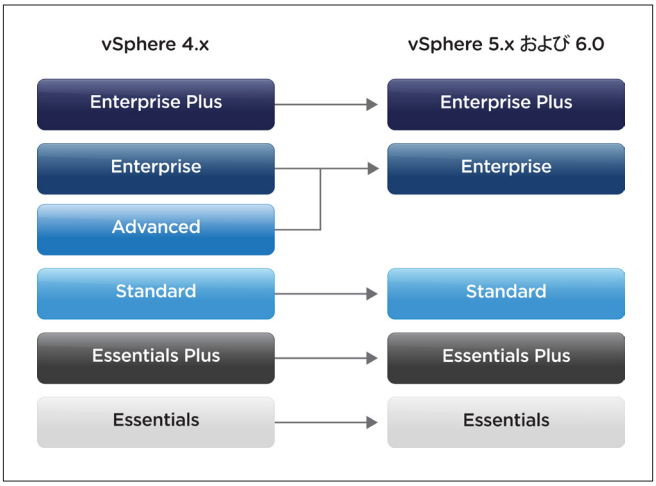

図 4：vSphere 4.x から vSphere 5.x および 6.0 へのライセンス パス

vSphere アップグレード センターにアクセスして、お客様に適したアップグレード方法について詳細をご確認ください。
http://www.vmware.com/jp/products/vsphere/upgrade-center/overview.html

vSphere および vSphere with Operations Management のバージョンのダウングレード

- vSphere はバージョンのダウングレードが可能です。
- vSphere with Operations Management の vSphere コンポーネントは、4.x 以前のバージョンへはダウングレードできません。vSphere 5.x または 6.0 の任意のバージョン（My VMware ポータルでダウングレード）、および vRealize™ Operations™ Standard 5.6 ～ 6.0 のうち任意のバージョン（製品ダウンロードグループで入手可能な固定キーを使用）を実行できます。
- VMware vSphere Remote Office Branch Office™ は、バージョン 6.0 から 5.5U2 にダウングレードできます。vCenter Server は、ESXi ホストと同等以上のバージョンである必要があります。たとえば、ESXi のバージョンが 5.5U2 である場合、vCenter Server のバージョンは 5.5U2 以降である必要があります。

無効な SnS（サポートおよびサブスクリプション）契約を復元するには

期限切れの SnS をお持ちのお客様が、サポート対象のアップグレード版を購入するには、復元料金をお支払いいただく必要があります。復元料金は、次の基準に基づいています。

- 復元する SnS 契約の見積り日から最短 1 年間の料金
- お客様の SnS 契約が無効であった期間分の料金
- 上記の 2 つの基準の合計金額の 20 % の料金

エディションの有償アップグレード

vSphere、vSphere with Operations Management、または VMware vCloud Suite® の上位エディションへ有償でアップグレードすることが可能です（図 5 を参照）。たとえば、vSphere Enterprise Plus のお客様は、vSphere with Operations Management Enterprise Plus または任意のエディションの vCloud Suite にアップグレードできます。お客様がサポート対象のライセンスを上位のエディションにアップグレードすると、元のライセンス キーは無効になり、アップグレードされたエディションに対応する新しいライセンス キーが発行されます。アップグレードの購入時に、アップグレードされたエディションに対応する SnS 契約もあわせて購入する必要があります。アップグレードする前のエディションに対応する SnS 契約の期間が残っている場合は、新しい SnS 契約にその期間を追加して、契約期間を延長することができます。既存契約の残りの期間が長いお客様のために、SnS は最短で 2 か月から契約することができます。このプロセスにより、SnS 契約、ライセンス キー、そして契約終了日がそれぞれ 1 つにまとめられます。

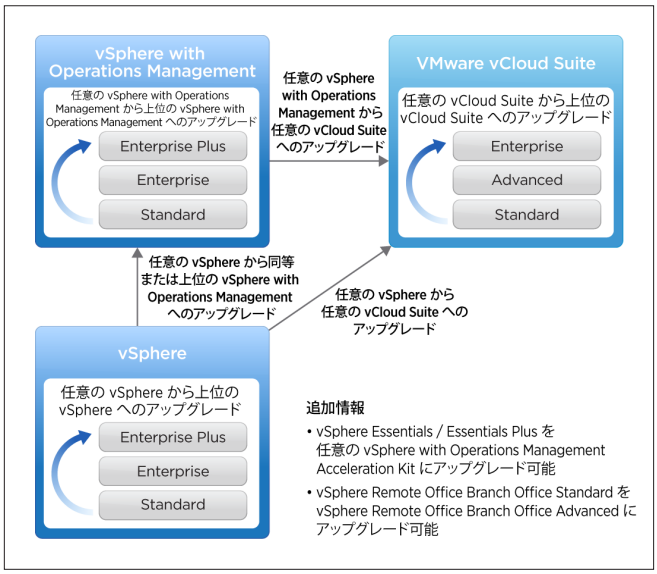

図 5：vSphere、vSphere with Operations Management、および vCloud Suite 間のアップグレード方法

vSphere with Operations Management Acceleration Kit は、購入後にキット内のコンポーネントをそれぞれ分割して使用できます。そのため、vSphere with Operations Management Edition と同様の方法でアップグレードすることが可能です。Acceleration Kit を別の Acceleration Kit にアップグレードすることはできません。

vSphere の各エディションおよびキットの価格設定については、VMware 認定リセラーにお問い合わせください。
http://www.vmware.com/go/jp_partner

FAQ

Q： vSphere with Operations Management 6 のライセンスの単位は何ですか

A： vSphere with Operations Management のライセンスはプロセッサ単位で付与されます。仮想マシン数、コア数、および物理メモリの量に制限はありません。

Q： vSphere with Operations Management を購入すると、ライセンス キーはいくつ付与されますか

A： vSphere with Operations Management は、ユーザーのライセンス ポータルで独立したライセンス権限として表示されます。この権限によりライセンス キーが 1 つ生成されます。ユーザーは vCenter Server 内で、このライセンス キーのアクティベーションを行います。

Q： vSphere with Operations Management に対応した VMware Acceleration Kit はありますか

A： はい。vSphere with Operations Management の 3 種類のエディションに対応した、3 種類の Acceleration Kit を提供しています。各キットには、vSphere with Operations Management がプロセッサ単位で 6 ライセンス、VMware vCenter Server Standard のライセンスが 1 インスタンス分含まれています。

Q： vSphere with Operations Management から VMware vRealize™ Operations™ Advanced または Enterprise へのアップグレードを購入できますか

A： vSphere with Operations Management のすべてのエディションには、VMware vRealize Operations Standard が含まれています。vRealize Operations Advanced と vRealize Log Insight を含むソリューション バンドルである vRealize Operations Insight アドオンを購入いただくことによって、VMware vRealize Operations Advanced を VMware vSphere with Operations Management のすべてのエディションに追加することができます。VMware vRealize Operations Enterprise をご希望の場合は、(1) vCloud Suite Enterprise への有償アップグレードを購入、(2) 単体製品の VMware vRealize Operations Enterprise を仮想マシン単位で購入のいずれかをご検討ください。

Q： 単一の vCenter Server で、vSphere ホストと vSphere with Operations Management ホストの両方を管理できますか

A： VMware は、ライセンス管理とコンプライアンスの簡素化を実現するため、単一の vCenter Server のインスタンスで単一のエディションの vSphere with Operations Management を管理することを推奨しています。vCenter Server の 1 インスタンスで、vSphere with Operations Management の複数のエディション（または vSphere with Operations Management と vSphere / vCloud Suite の両方）を稼動しなければならない混在環境の場合でも、コンプライアンスを維持することは可能です。混在環境でコンプライアンスを維持するには、使用する機能（VMware vRealize Operations Standard のキャパシティ管理機能など）のライセンスが、すべての仮想マシンに適切に付与されている必要があります。vSphere with Operations Management のライセンス（プロセッサ単位）、単体製品のライセンス（仮想マシン単位）のどちらでも、仮想マシンに対して適切にライセンスを付与することができます。

Q： VMware vRealize Operations のライセンスを仮想マシン単位で使用し、vSphere with Operations Management のライセンスを CPU 単位で使用して、双方を同じ環境で運用することはできますか（vSphere with Operations Management を既存の VMware vRealize Operations 環境に追加するなど）

A： ライセンスがコンプライアンスを維持しているかぎり、問題はありません。

Q： ライセンスがプロセッサ単位で付与され、仮想マシン数、コア数、および物理メモリの量に制限がないという vSphere 6 のライセンス モデルは、vSphere 5.x と vSphere 6.0 に適用されますか

A： はい。vSphere 5.x や 6.0 をお使いの場合、コア数や物理メモリの量に制限はありません。vSphere with Operations Management にも同様に適用されます。

Q： vSphere 6 のライセンス モデルは、vSphere 4.x 以前の既存のライセンスに適用されますか

A： いいえ。vSphere の新しいライセンス モデルは、vSphere のライセンスを新規に購入する場合や、vSphere 4.x 以前のバージョンのライセンスを vSphere 5.x または vSphere 6.0 にアップグレードする場合にのみ適用されます。

Q： 既存の vSphere 4.x 以前のバージョンのライセンスを vSphere 5.x または vSphere 6.0 にアップグレードする場合、vSphere 4.x のライセンス モデルを引き続き使用できますか

A： いいえ。アップグレードするには、vSphere 5.x または vSphere 6.0 の新しいエンドユーザー使用許諾契約書（EULA）に同意する必要があります。

Q： vSphere with Operations Management に含まれる vRealize Operations の機能を、vSphere with Operations Management のライセンスが割り当てられていないホスト上の仮想マシンに適用できますか

A： いいえ。vSphere with Operations Management に含まれる vRealize Operations の機能は、vSphere with Operations Management のライセンスが適切に割り当てられているホスト上の仮想マシンにのみ適用できます。それ以外のホスト上で稼動する仮想マシンに適用するには、別途ライセンスが必要になります。

Q： vSphere Desktop は、誰でも利用できますか

A： vSphere Desktop は、デスクトップ仮想化限定で vSphere のライセンスを新規に購入する、企業、教育機関、行政機関を含むすべてのお客様を対象としています。vSphere Desktop は、VMware View バンドルの一部として提供されます。

Q： 現在 vSphere Enterprise Plus を使用して、サードパーティ製のデスクトップ仮想化ソリューションを展開しています。今後も同様に使用できますか

A： はい。現在、サードパーティ製の仮想デスクトップ環境のバックエンドとして vSphere を使用しているお客様は、今後も同様に使用できます。

Q： vSphere Desktop を使用して、サードパーティ製のデスクトップ管理ツールとインフラストラクチャ ツール、またはサードパーティ製のデスクトップ用サーバ製品を実行できますか

A： vSphere 6 のエンドユーザー使用許諾書に記載のとおり、単体で販売される vSphere Desktop は、仮想デスクトップ インフラストラクチャ環境で使用する仮想デスクトップ マシン、デスクトップ管理ツール、またはデスクトップ監視ツールをホストする目的でのみ使用できます。

導入方法

vSphere および vSphere with Operations Management の各エディションとキットの価格設定、およびご購入に関する詳細については、VMware 認定リセラーにお問い合わせください。
http://www.vmware.com/go/jp_partner

また、VMware のオンライン ストアで、お客様の組織に適した vSphere with Operations Management または vSphere のキットやエディションをご確認いただけます。
http://www.vmware.com/vmwarestore/

詳細情報

VMware 製品のご購入、または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。
http://www.vmware.com/jp/products
仕様およびシステム要件の詳細については、VMware vSphere のドキュメントを参照してください。

ヴイエムウェア株式会社 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 13F www.vmware.com/jp
Copyright © 2015 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、http://www.vmware.com/go/patents のリストに表示されている 1 件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。
アイテム No.：VMW0850-VMW-WP-vSPHR-vSOM-PRICING-A4-159 2015/06